

キャラクター名  
喜界島 亘成 きかいじま こうせい

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	
オプション	ブラックドッグ	年齢	25~35	性別	男
覚醒	素体	衝動	解放	初期侵食率	49%
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	80
肉体	3	1	0		3	7	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
サイバーアーム	白兵	7r+1	5	Lv+3		侵食値+3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
マグネットコーティング	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:フルボグP		N		
Dロイス:ロストナンバーP		N		
		N		
		N		
		N		
		N		
		N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
不死者の恩寵	2	5	クリンナップ	至近	自身	自動		
効果:	HP+LvD10+肉体回復。戦闘以外時、シーン1回。							
ハードワイヤード	4	4	常時	至近	自身	自動		
効果:	アイテム所持							
サイバーアーム	1	3	常時	至近	自身	自動		
効果:	サイバーアーム装備(素手代用)							
異形の刻印	9	3	常時	至近	自身	自動		
効果:	最大HP+Lv*5。							
赤河の支配者	4	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	HPダメージ-1D+Lv*2点。							
冥府の棺	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	バッドステータスを受けると回復。暴走不可。重力中可。							
磁力結界	2	3	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガード値+LvD。							
球電の盾	4	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガード値+Lv*2							
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	カバーリング。行動済み無視。メイン1回。							
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果:	C値-Lv(下限7)							
渴きの主	4	4	メジャー	至近	単体	対決		
効果:	装甲無視。命中時HP+Lv*4回復。素手のみ。							
伸縮腕	2	2	メジャー	視界		対決		
効果:	白兵射撃→視界。判定ダイス-3-Lv個							
ブラッドリーディング	★							
効果:	血液から主の情報を抽出できる							

イオノクラフト  
電磁反応装甲  
封印の呪  
メタルフュージョン  
ペインエディター  
スプリングシールド  
命の剣  
ブラッドバーン  
電磁障壁

下級職員時代、頭脳仕事は得意だったものの、戦闘配属を希望し続けた喜界島。正義感が強く、人を救う仕事に対する強いあこがれを持っていた。ある事件にて、一度だけ人員補充に採用された喜界島だったが、戦闘は負け戦、喜界島も戦地にて没する。が、UGNはその後、強力な追加人員の力で撤退を強いら、戦地に没した兵士たちは、みなアールラボへ運ばれていった。アールラボの「未定」研究室では、死体を検体にレネゲイドの機械兵士を製作する実験を行っていた。(機械兵士は命令に忠実で、人間オーヴァードと比べ安価である為、雑兵に向く)研究は、「オーヴァードの人体を移植して機械兵士を作る」研究中。その中で、脳の移植をされた、喜界島のみ、機械兵士として、再度生を賜った。然し、研究室の目的は「命令に忠実な兵士づくり」であり、人としての思考をもつ喜界島は当該段階での成功例ではあるが、研究の通算から見れば失敗作であった。そんな喜界島は、アールラボ「未定」研究室に、所属が移り、「未定」研究室にて機械のように業務を遂行するだけの人生を強いられることとなる。(体は殆どが機械である喜界島は、体の疲労がなく(又は感じず)長時間の業務も可能だが、脳は生ものであるため、